| 学校番号 | 1012 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 論理国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 標準「論理国語」　（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 意味から学ぶ常用漢字　（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまなテキストに触れ、多様なものの見方・考え方を養っていってください。
・学びの主体となって、臆せず自分の考えを言葉にし、表現してください。
・他者の意見を尊重し、自分の思考の枠組みを更新していってください。
・テキストを読んだり自分の考えを表現したりするのに必要な知識を、自ら進んで身につけてください。
・自分の実生活とテキストのつながりを考えるようにしてください。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
様々なものの見方、考え方をするための知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
自分の考えを自分の言葉で表現できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
社会的な課題を自分事として考える態度を身に付ける。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・テキストを読んだり自分の考えを表現したりするために必要な、漢字を読み書きや語句の意味を理解する力を身につけている。 | ・さまざまなものの見方・考え方を理解する。<br>・テキストをめぐるさまざまな問いに対する答えを、自分の言葉で表現する。<br>・自分と違う時代や環境に生きる人たちについて、理解することができている。<br>・〈意見〉〈根拠〉〈事例〉の構造を理解し、自分の考えを表現する力を身につける。 | ・社会的な課題を自分事として考える。<br>・学びの主体となって、臆せず自分の考えを言葉にし、表現しようと努力する。<br>・自分の実生活とテキストのつながりを考える。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 生活の中の表現<br>［教材］<br>情けは人の……<br>俵万智 | a:・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る<br>b[読]:・関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。<br>c:・積極的に本文中の表現について指摘し、その表現が文章にもたらす効果を説明しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>パフォーマンステスト | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 自己と社会<br>［教材］<br>共同性の幻想<br>（菅野仁） | a: 語句の量を増やし、語彙を豊かにする<br>b[書]:「同調圧力」がはたらく社会的背景を理解し、現代における人間関係のあり方について考察する。<br>c: 筆者の提言について、本文を読んで考えを深め、自分に引き付けて具体的なあり方を考え、積極的に話し合おうとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>パフォーマンステスト | ワークシート<br>振り返りシート |
| 2 | 他者が自己に与える影響<br>［教材］<br>鏡としての他者<br>榎本　博明 | a: 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。<br>b[読]:本文を読んで、日常生活において自己イメージを意識する場面について考えをまとめる。<br>c:積極的に指示的な語句の効果を考え、説明しようとしている | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>パフォーマンステスト | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 人間と社会<br>［教材］SNSと意見の分極化<br>岡本真一郎 | a: 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する<br>b[書]: 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。<br>c: フェイクニュースの社会的問題を分析的に説明する論展開を把握し、自分に照らして考えを深める | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>パフォーマンステスト | ワークシート<br>振り返りシート |
| | コミュニケーション<br>［教材］<br>コミュニケーションの文化 | a:根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する<br>b[書]:日本人のコミュニケーションについての筆者の主張を検証し、そう主張する理由を明確にして論述する。<br>c:積極的に筆者の論展開における特長を把握し、自分なりに評価して話し合おうとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>パフォーマンステスト | ワークシート<br>振り返りシート |
| 3 | 生への思索<br>［教材］<br>僕らの時代メディア・リテラシー | a:・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>b[書]:筆者の主張の要点を理解し、市場原理の主体とメディアとの関係について考えを深める。<br>c:本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>パフォーマンステスト | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 現代と社会<br>［教材］<br>支えあうことの意味 | a:自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。<br>b[読]:抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。<br>c:人と人との「支え合い」について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>パフォーマンステスト | ワークシート<br>振り返りシート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　　…　（２５）時間

・読むこと　　…　（４０）時間